

〔 特 集 〕

教えて！ 子どものけいれん対応

熱性けいれんやてんかん発作は子どもにみられやすく、医師、看護師に限らず保育や学校の間でも対応が必要なことがあります。目の前でけいれんやてんかん発作を起こしている子どもをみるのは恐ろしい体験ですが、多くのけいれん・てんかん発作は5分以内に自然におさまるため、落ち着いて対応することが重要です。

髄膜炎など命にかかわる病気がある一方で、熱性けいれんのように一般に経過が良好なものもあります。また、けいれん・てんかん発作を起こした子どもは周囲から過剰な心配や偏見をもたれる可能性があり、心理的な配慮も必要です。

本特集では、子どものけいれん・てんかん発作に対する理解が深まり、子どもたちが安心して生活できるよう、発作時の初期対応から原因、日常生活まで幅広く解説します。

(名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座／夏目 淳)

